

令和3年度 浜松市立北浜南小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果及び考察は別紙のとおり

2 学校関係者評価

新型コロナウイルスの感染状況により、予定されていた学校運営協議会が開催されなかったため、学校運営協議会委員に別紙の学校だよりからの意見・感想をうかがった。委員からは以下のような意見があった。

豊かな人間性くやさしい子>について … 特別号②より

- ・課題であった「あいさつ」の項目の評価ポイントが上がってきていることをうれしく思います。2学期、3学期に入ってから近くを通る子どもたちのあいさつがよくなっていることを実感します。学校の取り組み、啓発が家庭に届いている証だと思います。
- ・「きれいな言葉を使って話す」という項目は大人の立ち振るまいや言葉遣いが大きく影響すると考えます。TVの影響も大だと思いますが、道徳を中心に日常生活の中で今後も力を入れていってほしいと思います。
- ・あいさつ、きれいな言葉、主体性はだいたいできているとアンケートに表れているが、マスクでの生活は「大きな声を出さない」など、不自由なこともあるかと思う。その中でも、できているのは、この先もきっと良い方へ向っていけると思う。
- ・あいさつが日常生活のはじまりであることをよく自覚できていたの嬉しい。
- ・きれいな言葉に対して親は子に対して厳しいのでは。親子が相互に尊重し合えば乱暴な言葉も慎むようになり家庭も円満になるのでは。
- ・自分で考え…は「考えるヒント」「生きるヒント」を示せるといいと思いますが難しいですね。
- ・南小の子は以前から「あいさつ」はできていると思います。それよりも気になるのは地域の方の「あいさつ」です。子どもに対しても大人同志でも笑顔であいさつができるのもっといいと思います。
- ・時と場に応じたあいさつで教員がA0%なのが気になりますが、全体的にポイントが高く素晴らしい事だと思います。
- ・きれいな言葉を遣う、乱暴な言葉遣いをしない事に関しては、個々の感じ方、時流もあるので、あまり気にしてませんが、時と場合に応じ、自ら考える事も行動する事もできるようになると豊かな人間性が育まれると思います。

すこやかな体くたくましい子>について … 特別号②より

- ・コロナ禍で内での生活が続き、心身共に疲弊してくることは確かですが、外に出て運動することで心身の調和を図ってほしいと願います。
- ・「ルールを守り、安全健康に過ごすことができる」というよさを継続してほしいと思います。
- ・もう少し気を付けていれば防げたけがもあったと教員側が述べていますが、前年度、一昨年度も多かったとさつきだよりで記されています。(図書室調べで本の貸し出し冊数が多いと具体的な表記をしたように保健室調べで具体的に場所、時間帯、けがの種類等を分析して対策を講じてほし

いと願います。

- ・健康的な生活習慣を身につけることは、ねばり強く取り組む子を育てることにつながっていると思う。コロナも不自由だけど、マスク、手洗い、うがい、黙食など毎日のことをコツコツ積み上げることに繋がると思う。
- ・めあてを立てて…は主観的判断が強く厳しく見ているのでは。
- ・ルールはよく守って安全に行動していると思います。
- ・ねばり強く取り組むためには、まずは体力だと思います。朝、校庭を走る事をずっと続けてほしいです。苦手な事も大変な事も体力がないとがんばれません。小学校のうちに体を動かすことの楽しさも感じてほしいです。
- ・コロナ禍で特に影響する事だと思ってます。目標の立て方も目標の実行も何度も変化しなくてはいけない環境で、ねばり強く取り組んでいて立派だと思います。また健康的な生活習慣、ルールを守る事について、コロナ社会だからこそ意識が高くなった事は前向きに捉えてもいいと思います。

確かな学力<かんがえる子>について … 特別号③より

- ・学力向上は授業の充実を図ることだと思います。研修での取り組みが更に充実することを願っています。
- ・「進んで読書」の項では2学期の本の貸出し冊数はここ3年間で一番多い(図書室調べ)とありますが、こういう具体的な表記はとてもインパクトを与えるのでよいと思います。
- ・学力は規則正しい生活ができていることが基盤となっていると思うので、早寝、早起き、朝ごはんが出来るように家庭でも取り組み、常に考える人間になるには失敗しても、その後の行動が大事だと、どんどんチャレンジできる教育、自己肯定感を得られるよう学校と家庭で取り組んで欲しいと思います。
- ・はっきりした声、言葉は相手を理解し自分を分かってもらえるのでA+Bがもっと上がるといいと思います。
- ・進んで読書…は自己体験以外で得られる知識・知恵の宝庫であるから(保)は少なくともCの方はBに上げる工夫をして欲しいですね。
- ・学力の元はやっぱり「国語力」だと思っています。しっかり話せる、書ける、読める。たくさんの本に出会って、たくさん文字を読んで話せる子になってほしいです。
- ・読書の機会が増えた事は素晴らしいと思います。
- ・コロナ禍で学習方法を子供の為に工夫しタイムリーに実行していく教員の方々に感謝しております。保護者が受動的に判断が難しい中、学校側が能動的に対応していただいていると思いますので、特に心配しておりません。

その他 お気付きの点があれば何でも構いません

- ・保護者の声に対して学校側の考えを明記することは、とても大切だと考えます。保護者の声に耳を傾け、できること、できないこと、検討していくことなどを述べていくことは双方向のコミュニケーションを深めていくことにつながると思います。
- ・末文の地域の子として、どの子の様子も温かい目で見てください…という文もよかったです。

- ・今年もコロナでなかなか思った活動ができませんでした。
- ・CDの研修会で学んできたことを三浦さんと教頭先生に伝えたいので、コロナが完全とは言わずともピークアウトしてきたらお時間頂けませんか？（春休みなど）
- ・小学校における教科間の重要度は一に国語、二に国語、三四がなくて五に算数…（祖国とは国語 藤原正彦 新潮文庫 解説は斉藤孝先生です。）と言っています。生活の中で、読み書き、語い等に親しみを持たせたいですね。昨年11月のCSで皆さん国語が大切ですねと言っていたのを思い出しました。自分が国語力がないので自分に言いきかせて書きました。失礼
- ・別紙の令和3年度…はとても分かりやすく理解しやすいです。
- ・忘れ物をする子は、なかなかおらない気がします。先生同志でも連絡をとりあい学年をこえてしっかり声かけしてほしいと思っています。
- ・「いじめ」については、いじめの子の相談（カウンセリング）をぜひしてほしいです。
- ・コロナ社会となり、様々な分野のスタンダードが不明になってきました。コロナ後の学校、教育、家庭環境が良きスタートがされるように、柔軟且つ、心がこもった対応を、学校、地域、家庭と一体となり育んでいければと願います。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 読書については、子供の読書を数値化したり、読書カードに貼ったりするなど、学校での子供たちの読書の様子を保護者に分かりやすく伝えるような手立てをとる。
- ・ 道徳の授業や帰りの会でお互いの良いところを伝える機会を設けることで、お互いを尊重する心を育てる。
- ・ 粘り強く取り組むためには、体力を付けることも必要なので、体育の授業やスポーツの時間などを通して、体を動かす楽しさを感じさせ、子供自身が進んで体力づくりに励むようにする。